

大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について(地震・津波関係)【抜粋】

旧
No.

No.	分野	項目	指摘場所	指摘日	コメント内容	回答日
S2-162	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第1199回会合	2023年10月20日	シームS-11の評価にあたり、変状有り/後期更新世以降の活動なしを区分するための指標を作成し、それらを総合的に判断した上で、工学的対処を講じることについて、段階的に説明すること。	今後ご説明予定
S2-163	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第1199回会合	2023年10月20日	第一段階として、シームS-11の変状有り/後期更新世以降の活動なしを認定できる箇所のうち、各1箇所について、網羅的に選定した全ての項目の調査・分析を行った上で、確度の高い項目を抽出するなどにより、どの項目を差別化に用いる指標として設定するのかを説明すること。	今後ご説明予定
S2-164	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第1199回会合	2023年10月20日	第二段階として、シームS-11の変状有り/後期更新世以降の活動なしを認定できる6箇所について調査・分析を行い、第一段階で抽出した指標が、差別化する上で十分かどうかを説明すること。	今後ご説明予定
S2-165	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第1199回会合	2023年10月20日	工学的対処を講じる際にデータの充足性が論点となる可能性があるため、第二段階の説明に合わせて、以下を検討すること。 1)敷地南側の粘土質の薄層が確認されている箇所や重要施設の周辺など、平面的なデータの充足性。 2)シームS-11の周辺岩盤の風化部の厚さなど、深さ方向のデータの充足性。	今後ご説明予定
S2-166	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第1199回会合	2023年10月20日	第三段階として、調査箇所を増やす等の必要な対応を行い、差別化に用いる指標の信頼性を確認した上で、変状有り/後期更新世以降の活動なしの領域の適切性について説明すること。	今後ご説明予定
S2-167	敷地地質	後期更新世に生じた変状	第1199回会合	2023年10月20日	第四段階として、変状有り/後期更新世以降の活動なしの領域を確定した上で、工学的対処を講じる範囲の区分に関する方針について説明すること。	今後ご説明予定
S9-1	工程	審査工程	第1199回会合	2023年10月20日	シームS-11の評価について、第一段階を優先して説明した上で、第二段階以降の評価については、結果を踏まえて柔軟に対応することとし、現地調査の時期を含め、一定程度の予見性を持ったスケジュールを説明すること。 また、地震動評価及び津波評価についても、全体の優先順位を考慮しつつ、スケジュールを説明すること。	今後ご説明予定

コメントNo.の凡例 (1列目) __H: ヒアリングでのコメント, S: 審査会合及び現地調査でのコメント

(2列目) __R: 論点, 1: 敷地周辺地質, 2: 敷地地質, 3: 地下構造, 4: 地震, 5: 津波, 6: 火山, 7: 地盤・斜面, 8: 品質保証, 9: 工程